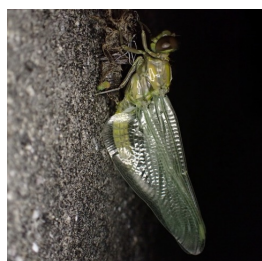




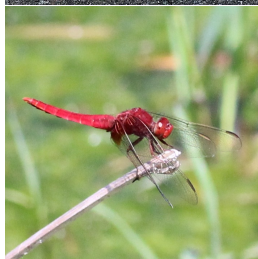
トンボの色 いろいろ

朝のうちに水辺近くの草むらに行くと、羽化直後のトンボを見ることができます。羽化後すぐはオスもメスも同じ色をしている種類がほとんどで、何週間か経つと、とくにオスでは鮮やかな色に変身！トンボの種名を調べる際は、色だけじゃなくて形や見つけた環境も気にしてみましょう☆

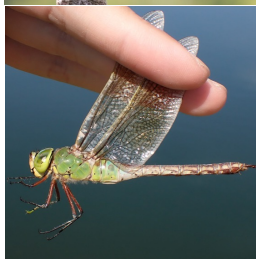
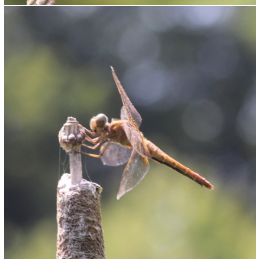
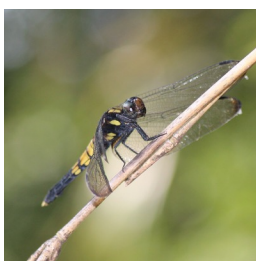
羽化直後のオス



オス



メス



オオシオカラトンボ
5.5cmくらい

オスは濃い青色、メスは黄色と黒色のしま模様でまるで別のトンボのようになります。陰がある水辺でよく見かけます。

ショウジョウトンボ
5cmくらい

オスは真っ赤、メスは淡い橙色になります。ため池の岸の枝に止まっている様子を見ることができます。

ギンヤンマ
7.5cmくらい

オスもメスも羽化後もそれほど体の色は変わりませんが、オスの腹部の付け根付近は水色になります。田んぼや明るいため池にいます。

文と写真：武智礼央



森の ちいさな おはなし

キノコのお仕事

～オオシロカラカサタケ(毒キノコ)～

公園に生える毒キノコ
その名もオオシロカラカサタケ
ひとが食べたら毒だけど
じつはこのコはえらいのよ

地面の下ではキノコの菌が
落ち葉を食べて 土にする
だいじなお仕事こなしてる
によっきりキノコが生えるのは
よくはたらいてる

証拠なんです！



白いキノコたちを見つけたら
よくがんばってますねえ と
どうぞ 声をかけてください

文と切り絵：山口すみれ

※オオシロカラカサタケは絶対に食べたらダメだけど、触るだけなら大丈夫です。

とことこの合い言葉
センス・オブ・ワンダー

「センス・オブ・ワンダー」とは「神秘さや不思議さに目をみはる感性」のこと。誰もが持つ「豊かな心でいられる魔法？」です。「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン氏の言葉であり、著書のタイトルでもあります。



東温市小さな子どもたちのおさんぽ会
主催：東温市環境保全課新エネ推進係
協力：NPO 法人 自然環境教育えこのは